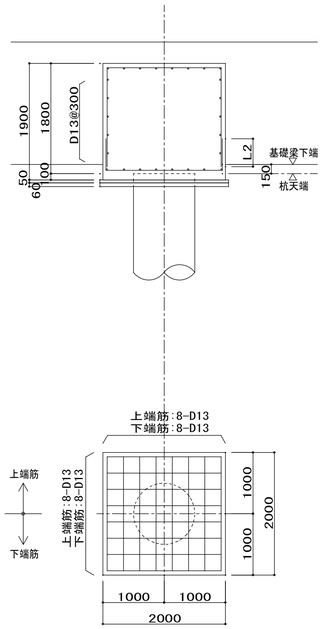
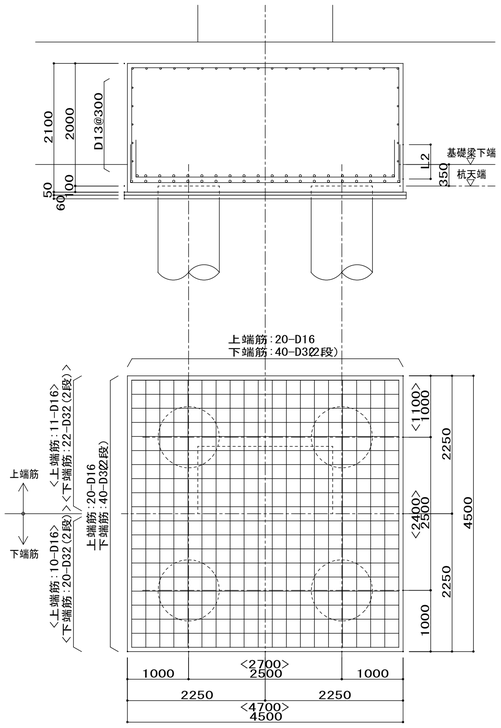
基礎断面表

A1：1/50
A3：1/100

F11

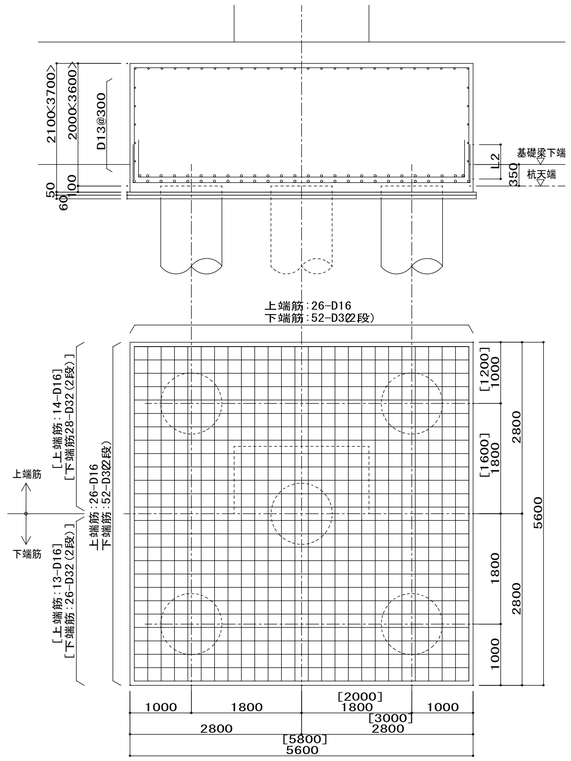


F14<F14A>



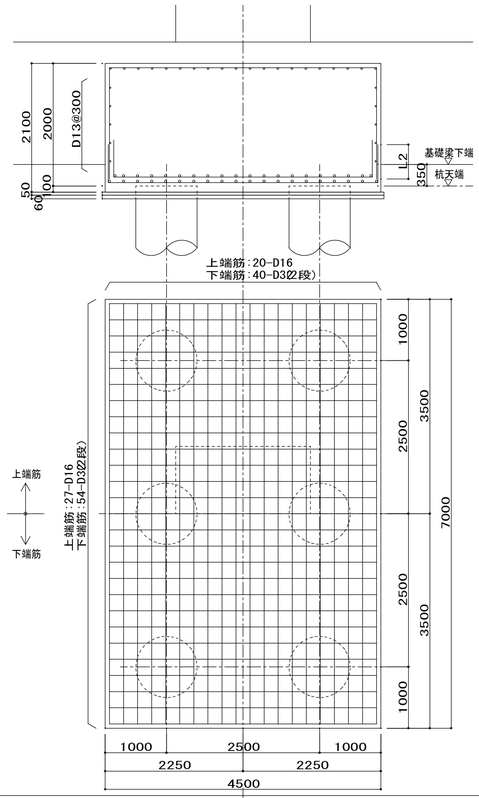
< >内は、F14Aを示す。

F15<F15A>[F15B]



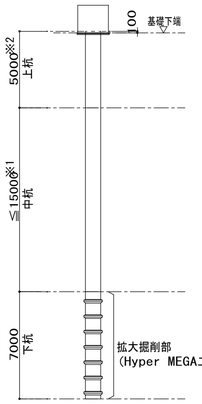
< >内は、F15Aを示し、[ ]内は、F15Bを示す。

F16



杭姿図

A1：1/200
A3：1/400



注）杭の継手は、建築センターの認定を取得した杭のコンクリート強度に対応した無溶接継手工法とする。

※1 上杭,下杭の長さは上記とし、必要杭長に対する長さの調整は、中杭で行うものとする。

※2 杭長が27mを超える場合は中杭を15mとし、上杭の長さで調整する。

杭断面表

注）1. Hyper MEGA工法又はHybridニーディング工法とする。
2. Hyper MEGA工法の拡大比ωは1.4以上とする。
3. Hybridニーディング工法の設計拡径比eは1.5以上とする。

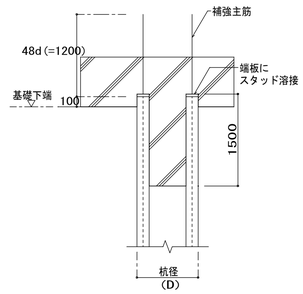
符号		F11	F14	F15・F15A	F16
長期許容耐力		5100kN	20400kN	25500kN	30600kN
短期許容耐力		10200kN	40800kN	51000kN	61200kN
杭体コンクリート強度		FC105			
杭頭鉄筋		24-D25			
上杭	CPRC杭	1000φ			
	杭種	Ⅲ 種			
	長さ	5m※2			
中杭	PHC杭	1000φ			
	杭種	B 種			
	長さ	15m以下※1			
下杭	節杭(軸部)	1000φ			
	節杭(節部)	1200φ			
	杭種	B 種			
	長さ	7m			

符号		F21<F21A>	F22	F24
長期許容耐力		4300kN	8600kN	17200kN
短期許容耐力		8600kN	17200kN	34400kN
杭体コンクリート強度		FC105		
杭頭鉄筋		24-D25		
上杭	CPRC杭	1000φ		
	杭種	Ⅲ 種		
	長さ	5m※2		
中杭	PHC杭<CPRC杭>	900-1000φ(拡頭)<同等品>		
	杭種	B 種<Ⅲ 種>		
	長さ	15m以下※1		
下杭	節杭(軸部)	900φ		
	節杭(節部)	1100φ		
	杭種	B 種		
	長さ	7m		

注）1. < >内は、F21Aを示す。
2. PHC杭900φ(中杭)の肉厚は140mmとする。

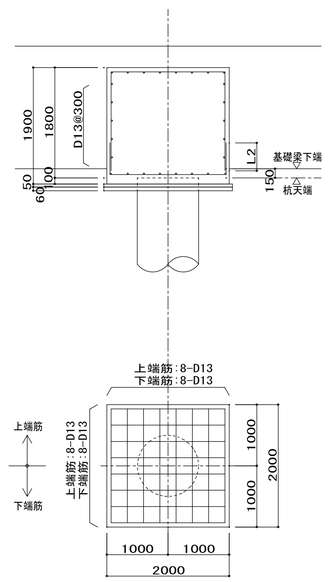
杭頭補強要領(NAA形)

※一般の杭頭補強は下記による。

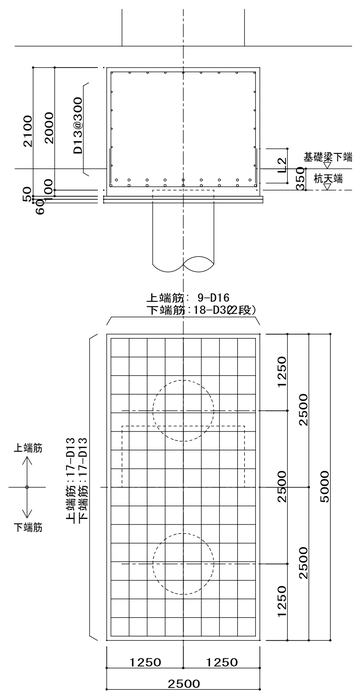


注）1. スタッド溶接接合の補強筋は、スタッド溶接用異形鉄筋(SD345相当、KSW490同等品)とする。
2. スタッド溶接作業者は、スタッド協会実施の「スタッド溶接技術検定試験」のB級合格者とする。
3. スタッド溶接面は、作業前にグラインダー加工により錆やコンクリート等を除去し、清掃を行う。
4. スタッド溶接施工前に、テストピースに2本溶接し、30°曲げ試験を行う。
5. スタッド溶接施工後、スタッド100本を1ロットとし100本に2本の割合で、15°曲げ試験を行う。溶接部に割れその他の欠陥が生じない場合は合格とする。
6. 合格ロットはそのまま受けいれる。不合格となった場合は同一ロットからさらに2本のスタッドを検査し、2本とも合格の場合はロットを合格とする。ただし、これら2本のスタッドのうち1本以上が不合格となった場合、そのロット全数について検査する。

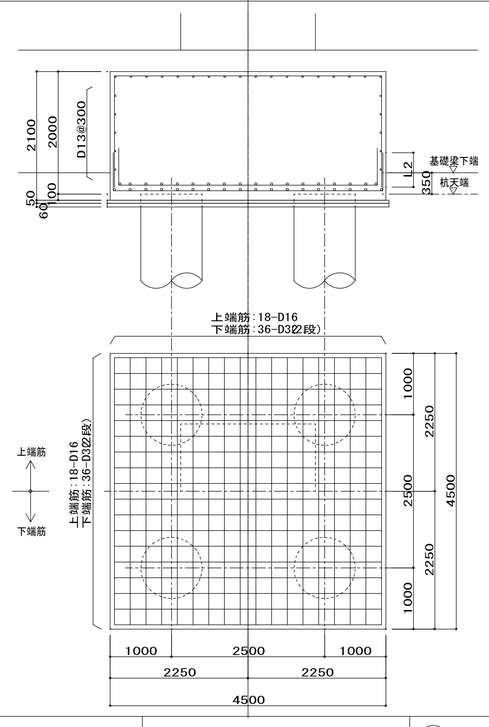
F21・F21A



F22



F24



着工	平成 28年 6月25日		
竣工	令和 元年 11月30日		
監理		監理 日建・上田特定監理業務等共同企業体	
施工		施工 大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体	

完成図 構-48

日建・上田特定設計委託業務共同企業体

高知市都市建設部公共建築課					
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長

高知市新庁舎建設工事

杭・基礎断面表

構 48 / 5－1

NO. 0－140004－B